



2022年5月12日

各位

会社名 株式会社岡本工作機械製作所
代表者名 代表取締役社長 石井常路
(コード: 6125、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員
管理本部長 高橋正弥
(TEL. 027-385-5800)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2022年度から2024年度までの3カ年を対象とする新たな中期経営計画を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画の振り返り

当社グループは、長年にわたり培ってきた研削技術及びラップ・ポリッシュ技術により、「総合砥粒加工機メーカー」として、工作機械、半導体関連装置の両分野において高品質・高能率製品の提供を通じてお客様の「ものづくり」に貢献してまいりました。

2019年度(2020年3月期)から実施した前中期経営計画『SHINKA 2022』において、ビジョンを「安定した収益を確保できる企業への変革」とし、ダウンサイドに強い安定した収益基盤の強化、持続的成長のための成長エンジン事業作り、Okamotoブランドの再構築を目指してまいりました。

この期間において、半導体市場は好調に推移していたものの、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響等により基本戦略の遂行においても一定の制約が生じる等、経営環境が当初の想定から大きく変化いたしました。

このような状況を踏まえ、中期経営計画最終年度である2022年3月期の数値目標を2021年5月に修正いたしました。工作機械業界向けの精密歯車や鋳物の販売が大きく増加し、当初計画には及ばないものの売上、利益ともに修正計画を上回ることができました。

	2022年3月期 (当初計画)	2022年3月期 (修正計画)	2022年3月期 (実績)
連結売上高	380億円	340億円	375億円
連結営業利益	46億円	27.5億円	40億円
連結営業利益率	12%	8%	10%


2. 新中期経営計画について

(1) 基本方針

当社グループは、新中期経営計画の3ヵ年（2023年3月期～2025年3月期）におけるビジョンを「研削で価値を創造するソリューションカンパニーへ」とし、新たな価値創造を目指してまいります。

- ・事業ポートフォリオを磨き研削・研磨の可能性を創造する
- ・研削ソリューション・サービス等、顧客の価値を創造する
- ・サステナブル経営をもって、事業の持続的体制作りと持続的社会的実現に寄与する

(2) 数値目標

	2022年3月期 (実績)		2025年3月期 (目標)
売上高	375億円		500億円
営業利益	40億円		60億円
営業利益率	10%		12%

(3) 基本戦略

① コア事業の競争力強化

- ・中国市場でのマーケットシェア拡大
- ・グローバルでの高付加価値機種拡販、ブランド価値向上

② 収益力強化

- ・機械本体の収益性向上
- ・モノづくりを上流から整流化

③ 研削技術の応用によるポートフォリオ経営

- ・歯車事業での工場投資による増産（精密部品事業の拡大）
- ・半導体関連装置の次世代機開発によるトップシェアの維持、拡大

④ 将来にわたる市場優位性の構築

- ・グローバルでの部品、サービスの拡販、自動化提案の推進（B to B から B with B へ）
- ・サステナブル経営の推進

以上